

東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 検討項目整理表、進め方（案）

	課題	対応方針 (検討項目)	解決方策	実施手法	進め方		
					20年度	21年度	22以降
共通	水害経験者の減少で地域の水害リスクが伝わらず水害に備える意識が低下している	水害に備える意識の高揚	地域の経験情報を普及するための取り組み（地域）	・知恵・水害文化の発信	発信方法検討 知恵・文化の収集※1		資料とりまとめ
			科学的情報による意識の高揚のための取り組み（行政）	・出前講座（分かりやすい資料作成）の開催 ・体験型講座（R-DIG）の検討・実施 ・はん濫シミュレーション結果の公表・普及	上流部、中流部、湖岸部の3集落を対象に出前講座を試行	試行結果を踏まえ、資料内容や進め方等を向上させ出前講座を拡大	各市町での積極的な展開
			地域別避難判断水位の設定	・地域別避難判断資料の作成	湖北圏域での取組（19・20年度）を参考	避難判断資料の作成	
湖辺地域	水害リスクを知らずに土地利用が行われる	長期浸水への対応	水害リスクを日頃から意識できるための取り組み（住まい方）	・まるごとまちごとハザードマップの実施		設置場所や内容等の検討	住民と協働して現地に設置
	牛をどう避難させるか		家畜を長期避難させるための取り組み	・家畜の避難に関する現状・課題・対策案検討	現状や課題の洗い出し※2	対策案検討	（可能なら）避難訓練
			家畜の避難に関する協定の検討		避難協定の検討	（必要なら）協定締結	

※1: 知恵・文化の収集方法について 平成20年度は流域治水政策室で実施したアンケート結果を基に対象集落を選定、各市町3～5集落を対象に聞き取り調査等を実施する。
平成21年度は、小学生も参加した聞き取り調査が実施できるよう学校との連携を検討していく。
※2: 現状や課題の洗い出しについて 家畜保健衛生所や畜産技術振興センターの担当者にも参加願った行政間での検討をまず進め、その後に飼育農家の参加をお願いする。